

次号予告

- 特集 学会のあり方、協会の必要性を探る
 職業人の組織団体としての協会とは…札幌医科大衛生短大 鈴木明子
 PT協会のあゆみと今後の方向……………PT協会会長 松村秩子
 OT協会のあゆみと今後の方向……………OT協会会長 矢谷令子
 座談会／学会のあり方
 関川 博, 古川良三, 前田 守, 関 昌家, (司会) 中屋久長
 資料／学会講演内容 PT学会……………東京都老人研究所 伊東 元
 OT学会……………拓杏園 花村 都
 とびら あるセラピストへの手紙……………関東労災病院 本多 純男
 講座 社会リハビリテーション
 1. 社会リハビリテーションの概念と実践基盤
 ……………日本女子大 小島 蓉子
 心理学シリーズ II. 知覚と認知
 1. 知覚研究の系譜……………東大文学部 大山 正
 プロGRESS AIDS とは……………国立大阪病院 木戸 友幸
 インタビュー PT・OTの挑戦 達者な日本語で日本社会にとけこむ
 米国のPT……………ボバース記念病院 ポール・アンドリュース氏
 あんてな ISPO 世界大会……………兵庫リハビリセンター 澤村 誠志
 資料 第19回PT・OT 国家試験問題—模範解答(II)

編集後記

天候異変に始まった今年も5月に入ってから暑い日差しの続く毎日となりました。

さて読者の皆様は、脳血管障害疾患とは、何らかの関わりを持っておられ、リハビリテーション関係に従事するものにとつて、一つの大きな課題であります。今月は、この内で補装具との関連に特集のポイントを絞って企画しました。

「脳血管障害者の杖と歩行」について、国立療養所東京病院、PTの松本氏に、「脳卒中片麻痺の下肢装具と歩行」を、大勝病院、PTの内田氏に、「脳血管障害者のアームスリングとスプリント」について、富山医科薬科大学付属病院、OT & PTの田村氏他に、「脳血管障害者の車椅子」については、神奈川県総合リハビリテーション事業団七沢病院、PTの村井氏に執筆をお願い致しました。巻頭言の土田氏を含めて、PT・OTの新進気鋭の先生方ばかりで占められたことは本誌としては喜ばしい限り

です。

講座「障害学概論」および「PT・OTのためのマイコン入門」の各シリーズは今年6回目で終了となります。まとめて戴きました大川嗣雄・土屋和夫両先生には誌面をかりてお礼を申し上げます。特にマイコンのシリーズにつきましては、取り付きの悪い我々に何とかその糸口を与えて下さるよう、お願い致しましたが、読者諸氏にはどう捉えられたでしょうか。

他に研究と報告が1本、症例報告1本、プラクティカル・メモ1本が掲載されています。

リハビリテーション関係の学会もたけなわです。是非発表された口演をまとめて本誌に投稿いただきたいと思います。

これから梅雨をはさんで暑い夏の時節に移ります。ますますの御清祥をお祈り致します。(大喜多 潤)

<編集顧問>

天 児 民 和
九州労災病院名誉院長

五味 重 春
埼玉県障害者リハビリセンター所長

砂 原 茂 一
国立療養所東京病院名誉院長

津 山 直 一
国立身体障害者リハビリセンター病院長

(五十音順、以下同じ)

<編集委員>

上 田 敏
東大リハビリ部

荻 島 秀 男
ペインリハビリテーションクリニック 高島平
整形外科

大喜多 潤
兵庫県リハビリセンター

寺 山 久美子
都心身障害者センター

富 岡 詔 子
信州大学医療技術短大

奈 良 勲
金沢大学医療技術短大

福 屋 靖 子
筑波大学

松 村 秩
都養育院リハビリ部

<編集同人>

池 松 洋 子

伊 東 元

岩 崎 テル子

宇都宮 初 夫

金 子 誠 喜

鎌 倉 矩 子

木 村 信 子

菊 地 延 子

小 嶋 裕

斎 藤 みち子

鈴木 明 子

高 橋 正 明

田 口 順 子

橋 元 隆

古 川 宏

松 沢 博

宮 崎 和 子

宮 前 珠 子

山 田 貞 雄

矢 谷 令 子

(担当 細田・西塚)